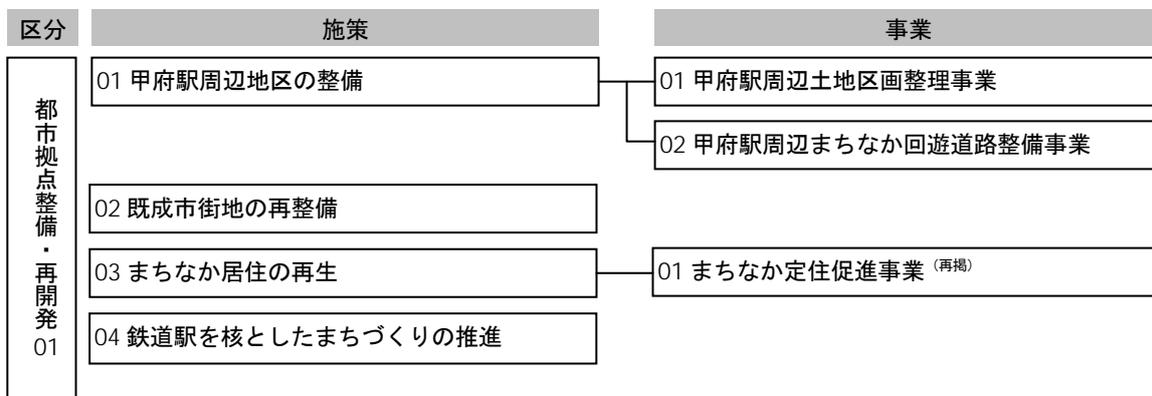


1 都市拠点整備・再開発

施策の基本的考え方

- 甲府駅周辺の大規模空閑地を活用し都市基盤の整備を充実し、新たな拠点施設の整備と企業立地の促進に努めます。
- 既成市街地において、住環境の改善及び安全なまちづくりの促進に努めます。
- 中心市街地の活性化と魅力あるまちづくりに努めます。
- 鉄道駅と連携した学園交流の拠点づくりに努めます。

施策・事業の体系



01 甲府駅周辺地区の整備

■甲府駅周辺土地区画整理事業 【事業No.05010101】	担当部課係名	都市建設部	甲府駅周辺土地区画整理課	ダイヤル	230-1029
			換地係・補償係・工事係		

事業概要

- 甲府駅周辺の鉄道跡地等の大規模空闲地を活用し、都市環境を整備すると共に、新たな都市拠点の形成を図るため、道路・公園等の公共施設の基盤整備を行う。

現況と課題

- 換地設計に基づく仮換地指定及び建物移転補償等地権者との合意形成
- JR 軌道下の横断部分について JR との構造協議

今後の事業展開

- 事業計画に基づき、平成 35 年度の事業完成に向け、事業の計画的・効率的な推進を図る。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H23～25)
			平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	
公共施設整備率 (%)	25	29	33	39	46	46
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H23～25)
	平成 22 年度		平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	
	1,568,538		1,377,267	1,517,920	1,415,080	

■甲府駅周辺まちなか回遊道路整備事業 【事業No.05010102】	担当部課係名	都市建設部	甲府駅周辺土地区画整理課	ダイヤル	230-1029
			換地係・補償係・工事係		

事業概要

- 甲府駅周辺拠点形成事業により整備された甲府駅北口の拠点施設及び、平成 24 年度完成予定のシビックコア地区と甲府駅南口方面の拠点施設を結ぶ歩道等を整備し、中心市街地の回遊性を高めるとともに、住環境の向上や来街者のまち歩きの実便性向上を図る。

現況と課題

- 歩道整備予定地所有者との合意形成及び工程調整
- 用地買収、等価交換等の最終的な法的確認及び契約のスケジュール管理

今後の事業展開

- 都市再生整備計画に基づき、平成 24 年度の事業完成に向け着実な整備促進を図り、事業効果の早期実現を目指す。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H23～25)
			平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	
整備工事の進捗率 (%)	—	11.10	14.65	40.00	0.00	40.00
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H23～25)
	平成 22 年度		平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	
	57,093		262,864	108,000	0	

*のついた用語は用語解説をご参照ください。

03 まちなか居住の再生

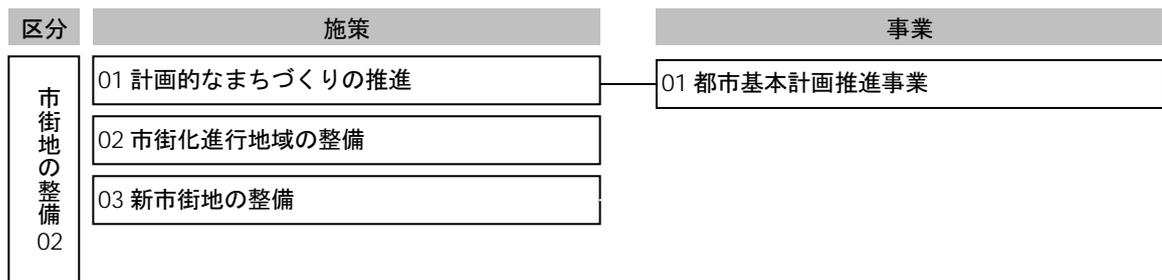
■まちなか定住促進事業 【事業No.05010301←No.03040101】再掲	担当部課係名	都市建設部	都市計画課 計画係	ダイヤル	237- 5814
--	--------	-------	--------------	------	--------------

2 市街地の整備

施策の基本的考え方

- 計画的なまちづくりを住民と協働で推進します。
- 地区計画*制度を活用し、地域の特性を生かした住民によるまちづくりを推進するとともに、適切な土地利用を図る民間開発の誘導に努めます。
- 面的整備によるまちづくりの促進に努めます。

施策・事業の体系



01 計画的なまちづくりの推進

■都市基本計画推進事業 【事業No.05020101】	担当部課係名 都市建設部	都市計画課	ガイライン	237- 5814
		計画係		

事業概要

- まちづくりに関する基本計画を策定し、都市の健全な発展と秩序ある整備を図る。
- 魅力のある持続可能なまちづくりに向け住民意見の反映が求められる状況下、まちづくりに関する計画素案の検討など、まちづくりに対する住民提案に向けた活動や取組みを市民主体または市民との協働により行う。

現況と課題

- 市街地の整備や地域特性を活かす良好な景観形成には、個人の権利に対する規制や制限も伴うことから市民の合意形成が重要である。

今後の事業展開

- 「甲府市景観形成基本計画」及び「甲府市景観条例」を踏まえた景観計画を作成し景観のルールづくりを行うなど、住民協働によるまちづくりを推進する。

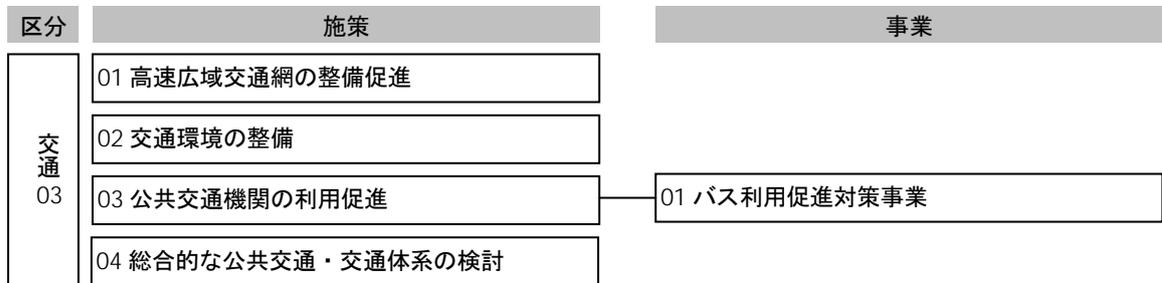
成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値合計 (H23~25)
			平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	
まちづくりに関する基本計画の策定(計画数)(件)	1	1	2	1	1	4
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H23~25)
	平成 22 年度		平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	
	4,903		9,727	2,000	2,000	

3 交通

施策の基本的考え方

- 新たな国土軸*の形成による道路ネットワークの構築により、社会経済活動の変化に対応した地域活性化を図るため、高速交通網と地域高規格道路*の早期整備・促進に努めます。
- 市内中心部を通過する交通を排除することにより交通渋滞の解消を図るため、放射型道路と有機的に連結する環状道路の整備・促進に努めます。
- 在来鉄道及び路線バスの利便性を向上させるとともに、高齢者や障害者の日常の移動の手段として利用できる環境を整え、利用促進に努めます。
- 新時代に対応し、新たな交通システム*や既存の交通体系の連携改善により、新時代の交通体系を総合的に検討します。

施策・事業の体系



03 公共交通機関の利用促進

■バス利用促進対策事業 【事業No.05030301】	担当部課係名	市民生活部	消費生活センター	ダイヤル	237-5303
			交通安全係		

事業概要

- 地域の主要生活交通であるバス路線を維持・確保していく。

現況と課題

- 市内の路線バスは赤字幅が増大しているため、バス事業者の路線退出が懸念される。
- 代替バス路線においては、利用者の低迷から公費負担が高んでいる。沿線自治体やバス事業者との利用促進対策が課題である。

今後の事業展開

- 利用低迷が著しい路線については乗降調査などを実施し、必要性を検証・分析する中で、廃止も視野にバス事業者や沿線自治体と継続的に協議し改善策を講じるとともに、利用促進のためのPRに努めていく。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H23~25)
			平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	
補助路線及び代替バス路線 の延べ利用者数 (千人:路線全行程)	4,343	3,428	3,966	3,976	3,986	3,986
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H23~25)
	平成 22 年度		平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	
	88,690		84,867	86,987	86,987	

4 幹線道路

施策の基本的考え方

- 広域交通網の整備やそれと連携する地域の骨格となる道路網の整備に努めます。
- 災害時の避難路・都市の景観やすべての人に利用しやすい道づくりに配慮した計画的な道路整備に努めます。

施策・事業の体系

区分	施策	事業
幹線道路 04	01 広域・地域交通道路の整備	01 金塚西(1)線整備事業
		02 和戸町竜王線整備事業
	02 防災・景観・福祉に配慮した計画的なみちづくりの推進	01 都市計画道路整備検討事業

01 広域・地域交通道路の整備

■金塚西(1)線整備事業 【事業No.05040101】	担当部課係名	都市建設部	都市整備課	ダイヤル	223-7055
			工事係・用地係		

事業概要

- 本路線に隣接する千塚公園は、平成19年度に供用開始しているが、周辺には広幅員道路がないため交通障害が発生している。
このため、地域交通環境の改善をすると共に、千塚公園の利便性を向上させるため本路線の早期整備を図る。

現況と課題

- 起業地に建物が存在する箇所が多いため、用地及び移転交渉の難航と移転完了まで不測の日数を要する可能性がある。

今後の事業展開

- 平成24年度の事業完成に向け、計画的に事業推進を図る。
・実施期間（平成20年度～平成24年度） 用地取得・整備工事

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H23～25)
			平成21年度	平成22年度	平成23年度	
路線整備率 (%)	—	10.6	55.3	100	—	100
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H23～25)
	平成22年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	355,100		151,843	150,000	—	

■和戸町竜王線整備事業 【事業No.05040102】	担当部課係名	都市建設部	都市整備課	ダイヤル	223-7055
			工事係・用地係		

事業概要

- 中央四丁目工区は「第五次甲府市総合計画」や「甲府市都市計画マスタープラン」等の計画において、中心市街地の骨格を形成する「こうふ都心環状線」として、また、東西方向の放射型道路として位置付け、中心市街地の交通を円滑にすると共に、快適な歩行者ネットワークの形成や来街者の増加に寄与するものとして、早期整備が必要な路線としている。また、整備優先路線の中にも最優先で整備する路線（工区）となっており、平成22年度より詳細設計に入り、平成28年度の完成を目指す。

現況と課題

- 本工区を整備する手法として、街路事業（直買方式）を検討しているが、地元説明会において市の考え方に対する関係地権者の合意形成が課題である。

今後の事業展開

- 平成23年度 用地測量、家屋調査、平成24年度 用地買収、平成25年度 用地買収及び工事
平成26年度 用地買収及び工事、平成27年度 用地買収及び工事、平成28年度 工事

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H23～25)
			平成21年度	平成22年度	平成23年度	
路線整備率(整備済み延長 (m)/路線延長(m)) (%)	—	—	—	—	—	—
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H23～25)
	平成22年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	5,700		200,000	413,200	413,200	

02 防災・景観・福祉に配慮した計画的なみちづくりの推進

■都市計画道路整備検討事業 【事業No.05040201】	担当部課係名	都市建設部	都市計画調整担当	ダイヤル	237-5814

事業概要

- 本市の都市計画道路整備計画は、高度経済成長期の人口増加や経済成長に伴う交通量の増大などを背景に、その多くを定めてきた。しかし、近年、人口減少や少子高齢化の進展など都市を取り巻く社会経済状況の大きな変化や、現状のまま推移すると、全ての都市計画道路を整備するためには相当の年数を要すると見込まれる事などから、都市計画道路の位置づけや機能を再確認する中で、都市計画道路整備の見直しを行い、効率的・効果的な都市計画道路の整備を図る。

現況と課題

- 都市計画道路の必要性を再検証する必要がある。
- 効果的、重点的な投資を行っていく必要がある。
- 都市計画道路の整備の見直し等を示す必要がある。

今後の事業展開

- 甲府市の都市計画道路の多くは、右肩上がりの社会経済状況を前提に計画されているが、計画決定から長期間を経過する間に、都市を取り巻く社会状況や人々の価値観が大きく変化している中で、平成 21 年度より都市計画道路の見直しを図ることとした。平成 22 年度より5ヵ年をかけて見直し、検討委員会の立上げ・実施、県及び近隣自治体との協議、市民との合意形成に向けての住民説明会・パブリックコメントの実施などを経て、見直し路線の選定を行う。

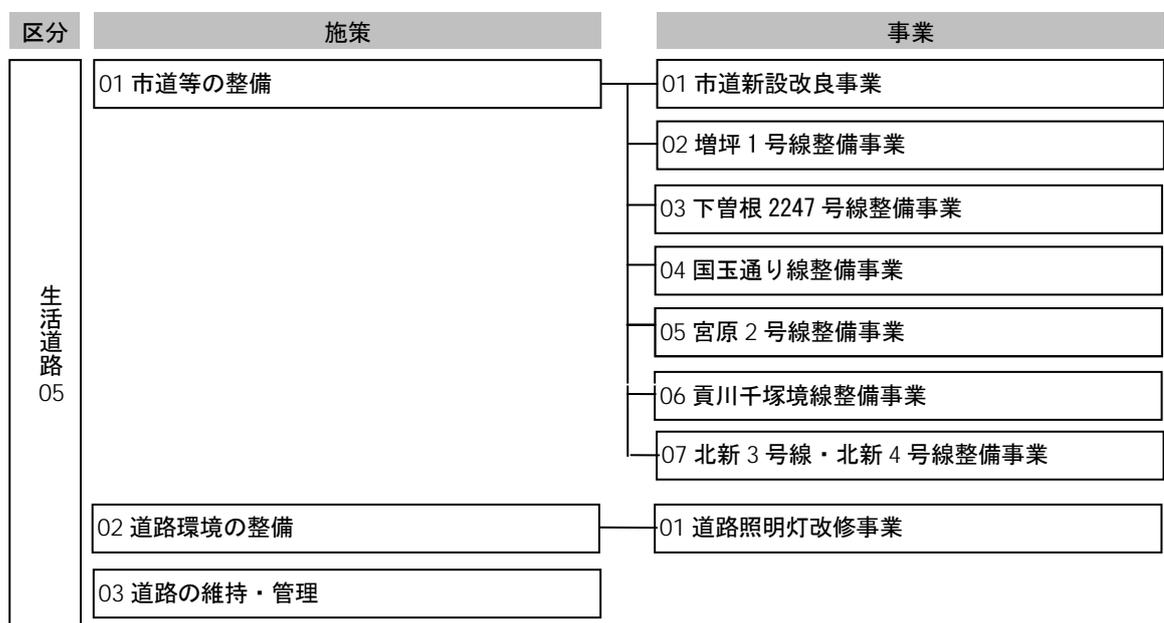
成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H23~25)
	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	
見直し路線の確定率(%)	—	50	70	90	100	100
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H23~25)
	平成 22 年度		平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	
	4,565		4,641	300	300	

5 生活道路

施策の基本的考え方

- 地域の利便性を図るために道路整備を推進するとともに、交通安全や防災上から狭小道路の拡幅整備に努めます。
- バリアフリー化*・植栽・電線類の地中化*を推進し、人にやさしい道づくりに努めます。
- 市道の適切な維持補修、道路工事の適切な施工管理の推進、不法占拠の是正推進や里道等の適切な管理に努めます。

施策・事業の体系



01 市道等の整備

■市道新設改良事業 【事業No.05050101】	担当部課係名	都市建設部	都市整備課	ダイヤル	223-7055
			工事係・用地係		

事業概要

- 生活道路（市道）を整備し、地域環境の改善や交通の安全性及び利便性の向上を図る。

現況と課題

- 限られた予算内で、住民要望と事業効率の整合を図り、施工路線を選定しなければならない。
- 市街地の路線は、補償費が大きく迅速な事業進捗は困難である。

今後の事業展開

- 市民や地域から出された要望路線の中から、部内で十分な検討を行い、緊急度や費用対効果の高い路線を選択し、迅速な施工を行う。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H23～25)
			平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	
市道改良率 (%)	66.43	66.52	66.66	66.80	66.94	66.94
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H23～25)
	平成 22 年度		平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	
	33,803		85,200	85,000	85,000	

■増坪 1 号線整備事業 【事業No.05050102】	担当部課係名	都市建設部	都市整備課	ダイヤル	223-7055
			工事係・用地係		

事業概要

- 本路線は、甲府市東南部における幹線道路であり、市立甲府病院や小瀬スポーツ公園に集中する交通量を、国道 20 号と市道寺前線に分散させ、地域の交通流の円滑化や交通利便性の向上を図る。

現況と課題

- 道路改良工事施工に伴い、既存水路の復旧工事を施工するが、水路の構造・施工方法等について地元関係者との協議が必要となっている。

今後の事業展開

- 事業完成に向け、計画的な事業推進を図っている。特に総合評価を踏まえ、未買収の用地取得に努めると共に、早期供用開始を図り、投資効果を高めていく。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H23～25)
			平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	
路線整備率 (%)	49.3	71.3	93.2	100	—	100
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H23～25)
	平成 22 年度		平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	
	169,000		215,000	72,600	—	

*のついた用語は用語解説をご参照ください。

■下曾根 2247 号線整備事業 【事業No.05050103】	担当部課係名 都市建設部	都市整備課	ガイライン 223-7055
		工事係	

事業概要

- 本路線は、甲府市南部に位置し、国道 358 号線と国道 140 号線を結ぶ市道で、車両交通だけでなく通学路としても重要な路線であることから、歩車道を一体的に整備し、交通安全性・利便性の確保を図る。

現況と課題

- 本路線の中間部にある間門川への橋梁架設にあたり、県施工の間門川改修工事と整合を図るための協議を行っているが、今後も継続する必要がある。
- 河川管理者との協議により、用地の追加取得（平成 21 年度取得）や橋梁施工時期の制限が指示されたため、全体の工程計画の見直しが必要となった。

今後の事業展開

- 県施行の間門川改修事業との整合を図り、計画的に事業推進を図る。
- ・平成 21 年度～23 年度 橋梁架設工、道路整備工事

成果指標	実績値		見込み値		目標値		目標値 (H23～25)
	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度		
路線整備率 (%)	60	72	100	—	—	100	
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)				計画額合計 (H23～25)
	平成 22 年度		平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度		
	99,000		53,500	—	—	53,500	

■国玉通り線整備事業 【事業No.05050104】	担当部課係名 都市建設部	都市整備課	ガイライン 223-7055
		工事係・用地係	

事業概要

- 本路線は、市道上阿原寿町線と都市計画街路和戸町竜王線をつなぐ重要路線であり、交通環境の改善を行う中で車両及び歩行者の安全性・快適性の確保を図る。

現況と課題

- H18 年度に事業を再開したが、残り地権者との交渉が難航している。

今後の事業展開

- 粘り強く用地交渉を進め、早期の工事完成を目指す。

成果指標	実績値		見込み値		目標値		目標値 (H23～25)
	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度		
路線整備率 (%)	38.82	38.82	38.82	38.82	100	100	
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)				計画額合計 (H23～25)
	平成 22 年度		平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度		
	14,400		13,800	43,000	200,000	256,800	

■宮原2号線整備事業 【事業No.05050105】	担当部課係名	都市建設部	都市整備課	ダイヤル	223-7055
			工事係・用地係		

事業概要

- 本路線は、主要地方道甲府中央右左口線と国母工業団地を結ぶ幹線道路として整備し、地域内道路の渋滞解消、地域の有効な土地利用の促進及び交通利便性の向上を図る。

現況と課題

- 本路線の中間部にある鎌田川への橋梁架設にあたり、河川管理者との協議を図っていく。
- 詳細設計により、用地の追加取得が必要となったため、早期の用地取得が必要となる。

今後の事業展開

- 平成25年度の事業完成に向け、計画的な整備を推進する。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H23~25)
			平成21年度	平成22年度	平成23年度	
路線整備率 (%)	0	0	0	75	100	100
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H23~25)
	平成22年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	105,000		104,500	150,000	160,000	

■貢川千塚境線整備事業 【事業No.05050106】	担当部課係名	都市建設部	都市整備課	ダイヤル	223-7055
			工事係・用地係		

事業概要

- 本路線と主要地方道中下条甲府線との交差点部を拡幅改良することにより、道路の渋滞解消及び通学路の安全確保などの利便性の向上を図る。

現況と課題

- 交差点改良に伴う交通管理者及び県道管理者との協議や関係地権者との合意形成が課題となる。

今後の事業展開

- 平成23年度 用地買収・物件移転補償
- 平成24年度 改良工事・完成

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H23~25)
			平成21年度	平成22年度	平成23年度	
路線整備率 (%)	—	0	0	100	—	100
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H23~25)
	平成22年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	4,850		63,000	29,000	—	

*のついた用語は用語解説をご参照ください。

■北新3号線・北新4号線整備事業 【事業No.05050107】	担当部課係名 都市建設部	都市整備課	タイルイン	223-7055
		工事係・用地係		

事業概要

- 市営北新3団地建替事業及び北新小学校校舍改築工事に伴い、道路の新設・改良工事を実施するものであり、地域交通の利便性及び歩行者の安全性の向上を図る。

現況と課題

- 市営団地（竜雲荘）の解体工事や北新小学校改築工事との整合性を図りながら、事業を推進していく必要がある。

今後の事業展開

- 平成23年度～24年度 用地取得・道路整備工事

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H23～25)
			平成21年度	平成22年度	平成23年度	
路線整備率 (%)	—	—	67	100	—	100
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H23～25)
	平成22年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	—		98,400	24,000	—	

02 道路環境の整備

■道路照明灯改修事業（省エネ・グリーン化 推進事業）【事業No.】05050201	担当部課係名	都市建設部	道路河川課	ダイヤル	237- 5843
			道路係		

事業概要

- 中核市・特例市グリーンニューディール基金事業の一環として、省エネ化を目的に、主要幹線道路である国道20号線から、甲府市中心市街地へのアクセス道路として交通量が多い市道里吉向線における道路照明灯を、水銀灯からLED灯への改修を行うことにより、消費電力を大幅に抑え、温室効果ガスの効果的な削減に取り組む。

現況と課題

- LED灯照明設備は最新の技術であり、実績が乏しく、価格が高価であるので、費用対効果を検証しながら、今後、甲府市が管理する道路照明灯の老朽化に伴った改修工事を実施する場合、継続的な財源確保のために、どのような補助金が活用できるか調べていく。

今後の事業展開

- 既設道路照明灯の老朽化に伴った改修計画の構築を行い、同時に、事業推進による温室効果ガスの削減効果を検証するなかで、計画的・効率的に事業を推進する。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H23~25)
	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
CO2削減効果 (t/年)	—	0	7.58	—	—	7.58
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H23~25)
	平成22年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	2,000		25,110	—	—	

6 地籍調査

施策の基本的考え方

- 地権者及び推進委員等の理解と協力を深め、調査体制の強化に努めます。
- 調査結果を生きた情報として幅広い活用に努めます。

施策・事業の体系

区分	施策	事業
地籍調査 06	01 事業の推進	01 地籍調査事業
	02 調査結果の利活用	

■地籍調査事業 【事業No.05060101】	担当部課係名 都市建設部	地籍調査課	ダイヤル 223-6103
		地籍調査係	

事業概要

- 一筆ごとの土地について、その所有者、地番、地目の調査並びに境界及び地積に関する測量を行い、地籍の明確化を図る。
- 調査の成果は、個人の取引から公的機関による地域の整備まで、土地に関するあらゆる行為のための基礎データとなる。

現況と課題

- 市街地域に入り土地の権利関係等、地権者間の複雑な問題が多く、これらの問題解決に時間を要する。

今後の事業展開

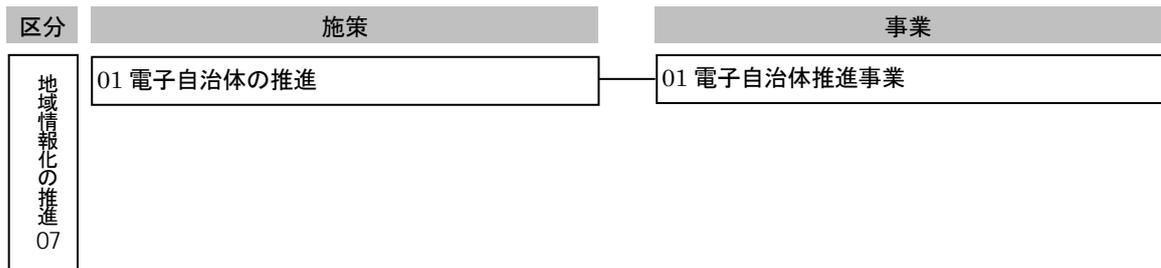
- 地籍調査は個人・地域の安心・安全に直結する調査であり、住民福祉の向上に有効に寄与することから、事業計画に基づき、外部委託のさらなる活用を踏まえ、迅速かつ的確な事業進捗を図る。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H23~23)
	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	
実施計画調査面積に基づく調査率 (実施面積/実施計画調査面積)	42.18	42.81	43.43	44.01	44.60	44.60
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H23~25)
	平成 22 年度		平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	
	73,133		64,055	78,090	70,010	

施策の基本的考え方

- 地域情報化計画*に基づき、情報通信技術（ICT）*を活用した簡素で効率的な行政運営を図るとともに、市民の視点に立った、質の高いサービスを提供します。
また、ICTの利活用を通じて地域の持続的な発展に寄与します。

施策・事業の体系



01 電子自治体の推進

電子自治体推進事業 【事業No.05070101】	担当部課係名 総務部	情報推進課	ダイヤル 237-5214
		情報推進係	

事業概要

- 地域情報化計画に基づき、情報通信技術（ICT）を活用した簡素で効率的な行政運営を図るとともに、市民の立場に立った質の高いサービスを提供していく。特に電子自治体*の構築を通じて、庁内においては、個別システム完成度を高めるばかりでなく、すべてのシステムにおける全体最適化を進めるとともに、地域全体として、コミュニケーション基盤の形成や地域産業の情報化の推進を目指す。

現況と課題

- 今後はシステムの管理運用業務が主となり、平成30年度までシステムの安定稼働を図ることが重要である。特に業務主管課・事業者・情報政策課がシステムの品質を高めるため、情報の共有化を進める必要があり、いかに市民サービスの向上、セキュリティの確保、事務効率の向上を確立させていくかが重要である。

今後の事業展開

- こうふDO計画では、平成30年度までの運用期間において、業務改善等により効率的な運用を図り、コストの削減に取り組んでいく。また地域情報化計画では3年間の推進期間での実施事業をスケジュール化及び具体化し市民サービスの向上、情報システムの最適化に取り組んでいく。

成果指標	実績値		見込み値		目標値		
	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値 (H23~25)	
①「こうふDO計画」の構築・推進							
②地域情報化計画の策定(2010~2012)	① 87	① 100	① 100	① 100	① 100	① 100	
	②	② 33	② 66	② 100	② 33	② 100	
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H23~25)	
	平成22年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度		
	8,028		8,028	7,626	7,626	23,280	

*のついた用語は用語解説をご参照ください。